

平成 25 年 3 月期 第 1 四半期連結決算概要

1. 連結決算実績 (24 年 4 月~24 年 6 月)

(1) 全体概要 (24 年 6 月末現在連結会社数: 連結子会社 65 社、持分法適用関連会社 5 社) (単位: 百万 m³、億円、円)

	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	(参考)個別決算
ガス販売量	3,496	3,532	△ 36	△ 1.0	3,245
売上高	4,426	3,767	659	17.5	3,936
営業利益	458	166	292	175.4	361
経常利益	495	163	332	203.1	432
四半期純利益	317	89	228	254.2	271
1 株当たり四半期純利益	12.34	3.38	8.96	265.1	10.55
1 株当たり純資産	333.23	324.67	8.56	2.6	271.06

(注) 1 株当たり純資産は 24 年 3 月期末との比較

<当四半期決算のポイント (対前年同期) > 増収は 3 期連続、増益は 3 期ぶり。売上高は歴代 1 位 (これまでの過去最高は H20)。

- ① ガス販売量は、震災後の落ち込みからの回復等により、家庭用需要及び業務用需要が増加したもの、連結子会社の電力事業向けガス販売の商流一部見直しに伴い工業用需要が減少したこと等により、1.0%減少しました。売上高は、原油価格上昇に伴う原料費調整による売上単価増 (396 億円) 等により、都市ガス売上高が 411 億円増の 3,285 億円となったことに加え、電力需給逼迫時対応による電力販売の増加等その他エネルギー売上高が 174 億円増加したこと等から、17.5%増の 4,426 億円となりました。
- ② 営業費用は、ガス原材料費が原油高の影響により 214 億円増加したこと、及び電力販売の増加に伴う燃料費の増加等その他エネルギーに関わる費用が 146 億円増加したこと等から、10.2%増の 3,968 億円となりました。この結果、営業利益は 175.4%増の 458 億円となり、これに営業外損益を加減算し、経常利益は 203.1%増の 495 億円となりました。
- ③ これに加え、関係会社株式売却益 35 億円を特別利益、投資有価証券評価損 38 億円を特別損失として計上し (前年同期はいずれも計上なし)、法人税等を計上した結果、四半期純利益は 254.2%増の 317 億円となりました。

(2) ガス販売量 (販売量は 45MJ/m³ 表記)

		当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)
お客様件数		千件	10,874	10,757	117
ガス販売量	家庭用	百万 m ³	895	887	8
	業務用	百万 m ³	608	581	27
	工業用	百万 m ³	1,525	1,601	△ 76
	計	百万 m ³	2,134	2,182	△ 48
	他事業者向供給	百万 m ³	467	463	4
	合 計	百万 m ³	3,496	3,532	△ 36
平均気温		℃	18.5	18.6	△ 0.1

- ① 家庭用需要は、ほぼ前年同期並みの 0.9%の増加でした。
- ② 業務用需要は、震災後の落ち込みからの回復により既存設備の稼働が増加し、4.7%増加しました。
- ③ 工業用需要は、既存設備の稼働増等があったものの、連結子会社の電力事業向けガス販売の商流一部見直しの影響等により、4.7%減少しました。
- ④ 他事業者向供給は、供給先事業者の需要増等により 1.0%増加しました。

(3) 収支概要 (都市ガス以外の内訳は「(4) 部門別の概況」参照。全社費用は各事業に配賦不能の営業費用) (単位: 億円)

収 益		増 減	増減率(%)	費 用		増 減	増減率(%)
都市ガス	3,285	411	14.3	都市ガス	原 材 料 費	1,869	214
					そ の 他	933	△ 37
					計	2,803	178
都市ガス以外	1,702	360	26.9	都市ガス以外		1,622	299
事業間内部消去	△ 561	△ 113	—	全 社 費 用		112	3
売 上 高	4,426	659	17.5	事業間内部消去		△ 570	△ 113
営業外収益	78	36	85.1	営 業 費 用		3,968	367
特 別 利 益	35	35	—	営 業 利 益		458	292
				営業外費用		41	△ 4
				経常利益		495	332
				特 別 損 失		38	38
				四 半 期 純 利 益		317	228

(4) 部門別の概況 (単位: 億円)

	売 上 高				セグメント利益			
	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)
都市ガス	3,285	2,874	411	14.3	481	249	232	93.5
器具及びガス工事	424	338	86	25.5	4	—	4	—
その他エネルギー	751	577	174	30.2	28	1	27	—
不動産	75	72	3	2.8	16	13	3	30.3
その他	450	353	97	27.6	29	3	26	656.6
都市ガス以外	1,702	1,342	360	26.9	80	18	62	335.0

(注) 売上高には事業間の内部取引を含んでおり、セグメント利益の算出には配賦不能営業費用を含んでいません。

(5) 主要計数

	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)
原油価格 (\$/bbl)	122.57	115.00	7.57	6.6
為替レート (円/\$)	80.18	81.71	△ 1.53	△ 1.9
設備投資 (億円)	406	255	151	59.2
有利子負債 (億円)	6,547	6,258	289	4.6
その他有価証券評価益 (億円)	186	216	△ 30	△ 13.7
営業キャッシュ・フロー (億円)	647	446	201	45.0
R O A (%)	1.7	0.5	1.2	—
R O E (%)	3.7	1.1	2.6	—

(注1) 営業キャッシュ・フロー=四半期純利益+減価償却費等

(注2) 有利子負債、その他有価証券評価益は 24 年 3 月期末との比較

2. 通期 (25 年 3 月期) の業績予想

<業績予想のポイント>

- 業績予想は連結・個別ともに前期「増収増益」の見通し。
(以下は、対前回 (4/27 発表時) 業績予想)
- 連結業績予想は主に個別の業績予想の見直しに伴い、売上高は 3.7%減少、経常利益は 43.8%増加の見通し。
- 個別業績予想のうちガス販売量は、工業用既存設備の稼働増等により 0.6%増加の見通し。
- 原油安・円高に経済フレームを見直したため、原料価格下落に伴う原料費調整により売上単価が減少すること等から、ガス売上高は 5.2%減少の見通し。一方、原材料費がガス売上高の減少を上回る 12.1%の減少となること等により経常利益は 62.7%増加の見通し。
- 経済フレームは、7 月以降原油価格 100 \$/bbl、為替レート 80 円/\$と想定。

(単位: 百万 m³、億円)

業績予想	連結決算				(参考)個別決算					
	通期	対前期		対前回 (4/27 発表時)		通期	対前期		対前回 (4/27 発表時)	
		増減	増減率(%)	増減	増減率(%)		業績予想	増減	増減率(%)	増減
ガス販売量	15,018	△ 172	△ 1.1	132	0.9	13,947	188	1.4	76	0.6
売上高	18,440	898	5.1	△ 700	△ 3.7	16,310	807	5.2	△ 640	△ 3.8
都市ガス	13,410	348	2.7	△ 697	△ 4.9	12,660	495	4.1	△ 700	△ 5.2
都市ガス以外	5,030	551	12.3	△ 3	△ 0.1	3,650	312	9.3	60	1.7
営業利益	1,400	630	81.6	410	41.4	1,110	596	115.9	390	54.2